

## 第62回水道週間作品コンテスト

### ■市内小中学校・事業者から 330 点の作品が応募



第62回水道週間作品コンテストを開催しました。市内小中学校と事業者の皆さんから合わせて330点の応募があり、審査の結果26人が受賞しました。

コンテストの特選・入選作品を、第62回水道週間協賛懸賞募集（主催：日本水道新聞社・日本水道協会・全国簡易水道協議会、後援：厚生労働省）に出品した結果、図画小学校低学年の部で阿部真梨那さん（南方小2年）の作品が見事入選に選ばれました。

受賞した作品は、令和3年2月8日から2月13日までイオンタウン佐沼店内通路に展示しました。



イオンタウン佐沼店内通路に展示



図画【小学校低学年の部】入選作品



【特選】南方小2年 阿部真梨那



【入選】佐沼小1年 佐々木愛菜



【入選】豊里小3年 佐々木奏

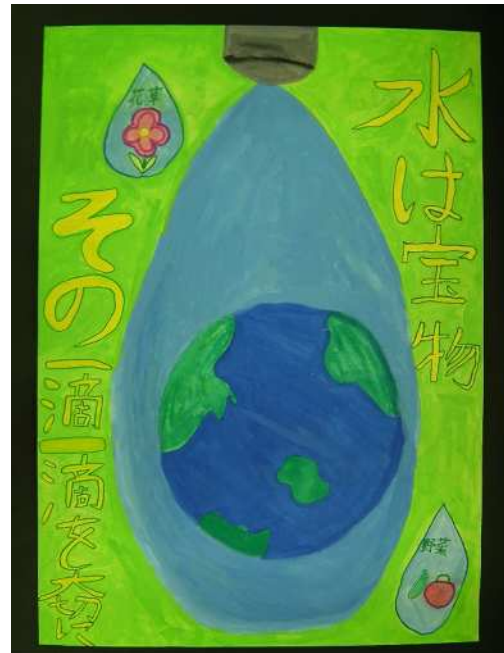


【入選】佐沼小3年 佐々木結愛

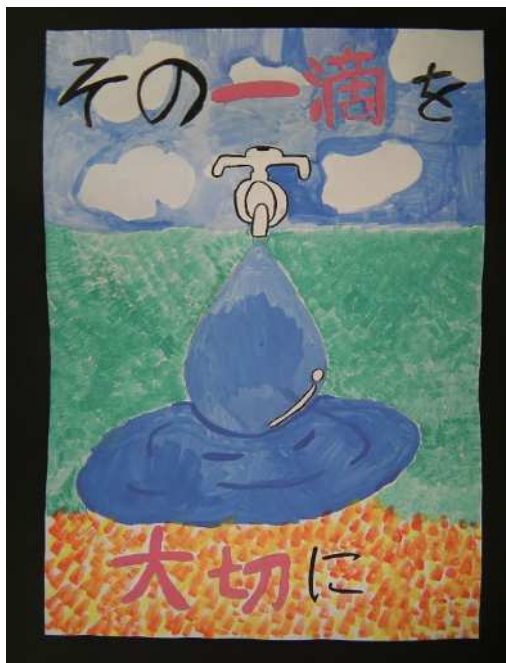
図画【小学校高学年の部】入選作品



【特選】米山東小6年 浅田竜翔



【入選】米山東小4年 菅原心



【入選】豊里小6年 千葉麻緒



【入選】南方小6年 鈴木楓雅

図画【中学生の部】入選作品



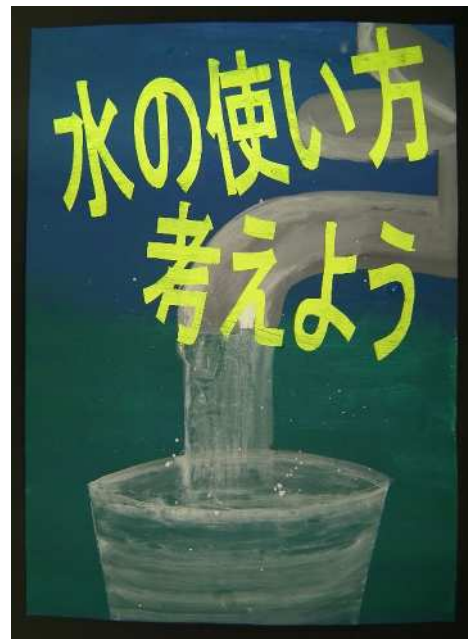
【特選】豊里中3年 佐藤琥太郎



【入選】東和中3年 千葉洵奈



【入選】東和中3年 佐藤陽菜



【入選】豊里中3年 伊藤寧音

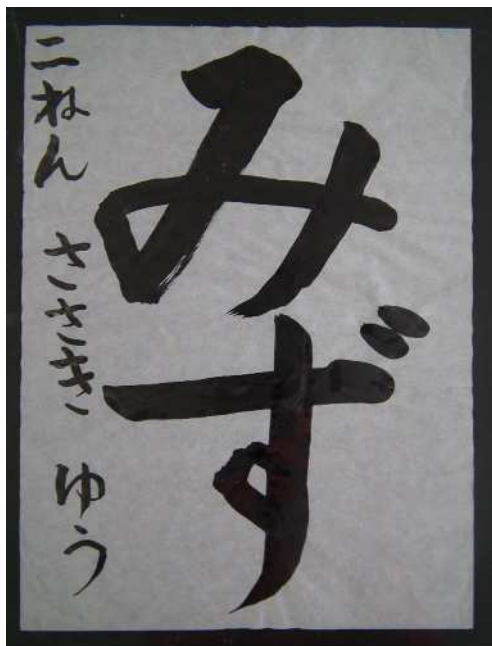
習字【小学校低学年の部】入選作品



【特選】佐沼小3年 佐々木楠乃



【入選】南方小3年 千葉虹和



【入選】登米小2年 佐々木優羽



【入選】佐沼小3年 村上結夏

習字【小学校高学年の部】入選作品



【特選】佐沼小6年 千葉真菜香



【入選】佐沼小5年 千葉彩香



【入選】佐沼小5年 佐々木稜仁



【入選】米谷小5年 千葉愛美璃

【標語の部】

おいしい水  
飲める嬉しさ  
永遠に

【特選】中津山小4年 石川千晴

おいしい水を  
大人の自分に  
つなごうね

【入選】米谷小4年 千葉優愛

だつコロナ  
手あらい  
うがい  
しっかりと

【入選】中津山小4年 鈴木翔和

次世代まで  
繋げよう  
大切な資源  
きれいな水

【入選】デクセリアルズ(株)なかだ事業所 千葉早苗



【作文小学校低学年の部】

特選 加賀野小学校3年 清野 凜「わたしの町の水」

【作文小学校高学年の部】

特選 宝江小学校6年 佐久間 心夢「大切な水」

わたしの町の水

加賀野小学校 二年二組 清野 凜

わたしは、いつも使っている水について、お家の人といっしょに調べたり考えたりしました。

まずはじめに毎日どのように水を使っているか考えました。お母さんかりょう理の時、野さいを洗ったり、ごはんをたく時に使います。先たくやトイレ、おみや体を洗う時など少し考えてみるだけで毎日たくさんのお水を使っています。

いることに気がつきました。また、学校ではバケツいれやトイレなどを育てています。いっぱいばい水をやらないとすぐおれちゃいます。と、一生けん命水やりをたくさんしました。今年の夏は特にあつかったです。水のおまじよもふえました。水のおまじよとわっ中しようになっしまいました。なので、わたしは休み時間になるとかならず水をのんできました。水はわたしの命を守っていることに気がつきました。

毎日とてもたくさんのお水を使っているの  
わたしのお家にとどくまでについてきょう味を  
もちました。

わたしの家にきれいな水がとどくまでに、  
ダムでたくさんえられて川にながされた水を、  
じょう水場できれいにしています。そこから  
家にくるまではいくつかのやかややかうすいか  
んを通って家のじゃくちまできているという  
ことが分かりました。水をきれいにするじょう  
うすいじょうや、かんりしているところもある

り、そこでばたらく人たちがいつも水がきれ  
いかどうかチェックしてくれている事を知り  
たくさんの人のおかげで毎日きれいでおいし  
い水を使うことができるんだなと思いました。  
わたしの家でいるお米市では、おいしい水  
がのめるように活性炭を使ったじょううすいし  
よりをしたり、水がもれていないかも点検し  
しているそうです。じゃくちをひねれば、あ  
たりまえにとうめいできれいな水が出てきて、  
おいしい水がのめますが、すごくしあわせな

ことだなと思いました。きれいな水を作る人  
たちにも、ありがとうの気持ちをもっ、て水を  
使おうと思っました。

これからも毎日水を大切に使い生活してい  
きたいと思っます。

大切な水

宝江小学校 六年 佐久間 心夢

水は、生きていく上でとても大切です。しかし、私は水の大切さを忘れてしまう時があります。家ではお母さんに、水道の水を安心して飲めるのは、日本くらいしかないよ。もっと大切に使うね。と言われます。私は、(そうだよ。水を大切にしないと)と、その度に思います。

世界には、安全な水を飲むことができない国でくらしている人がたくさんいます。子どもが水をくみに行く国や、水が汚れているため飲むことができず、生活に困っている国もたくさんあります。募金やボランティアの支援などで、やっと安全な水を飲むことができると思います。

五年生の時に、校外学習で浄水機場や排水機場を見学させていたことがありません。施設の方から、

「これからもずっと、水を大切にしてお過ごし  
てほしい。」

と言われたことを、今でも覚えています。二  
十四時間体制で、お仕事をしていることを知  
り、この言葉を忘れずに、毎日を過ごしたい  
と思いました。

お風呂上りに蛇口をひねると、日本ではい  
つでもおいしい水を飲むことができます。し  
かし、貧しい国では、そう簡単に安全な水は  
手に入りません。そして、手に入らなかった

も、家族みんなで分け合わなければならぬ  
ので、十分な量とは言えません。世界では安  
全ではない水を飲んで、病気になる人たちが  
いると聞き、とてもこわいと感じました。

今年、世界中で新型コロナウイルス感染  
症が流行しているのです。毎日うがい手洗いを  
くり返しています。私の家では、今年の五月  
に弟が生まれたこともあり、ますます手洗  
いなどに使う水の量が増えました。また、弟  
のほ乳びんなどを清潔に洗ったり、弟に触れ

る前にも手を洗ったりしています。そのため  
 水がますます大切なものになりました。赤  
 ちゃんの健康を守るため、気を配らなければな  
 らない大変さを感じています。  
 私の弟は、毎日笑顔で元気い。はいです。  
 これからも、どんどん大きくなっ。てほしいと  
 思います。弟や家族の健康が、きれいな水に  
 よって守られていることを忘れず、水を大切  
 にしていきたいです。

日本のきれいな水は、浄水場や排水機場な  
 どで働いている方々のおかげです。だから、

感謝の気持ちも忘れないようにしたいです。  
 たくさんの人の努力によっ。てつくられた水を  
 むだにして良いわけがありません。一人一人  
 が水を大切に。して生活していくことが、何よ  
 り大切だと思。います。まずは、  
 水を大切にしよう。  
 と胸を張っ。て言える自分でいたいと思。います。